

○知的クラスター創成事業(第Ⅰ期:H14~H18年度、第Ⅱ期:H19年度~)

1-1 新技術シーズの創出・産学官連携基盤の構築・強化

新技術シーズの創出

○産学官共同研究の着実な進展により、多数の特許出願、製品化等の事業化、ベンチャー起業等の成果を創出。

【これまでの成果(平成14~18年度)】

国内・海外特許出願件数 - 2230件 事業化(商品化・企業化等) - 803件

地域コンソ等の他事業への採択 - 232件

産学官連携基盤の構築・強化

○法人化された国立大学では、本事業の参画を通じ、知的財産の取扱いや地域貢献活動など産学官連携のための大学の組織的対応が促進。

○事業総括に民間企業出身者を充てており、民間のマネジメント手法も導入して大学における産学共同研究が実施され、大学改革にも一定の寄与。

○産学官の共同研究を通じて、参画する研究機関・民間企業も拡大し、さらに、組織を超えた地域の関係者において現状認識や問題意識が共有され、産学官のネットワークが形成。

	大学・公的研究機関		民間企業	
	共同研究の参画者数	機関数	共同研究の参画者数	機関数
平成14年度	—	105	—	166
平成15年度	1004	179	407	263
平成16年度	1516	376	629	501
平成17年度	1633	400	806	538
平成18年度	1727	407	927	567